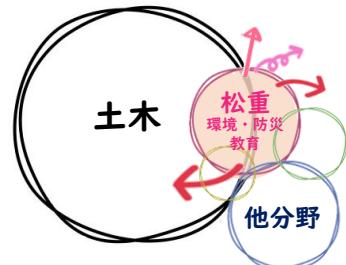


<四国の災害の記憶と知恵をつなぐ防災教育に関する研究>

[キーワード: 災害伝承, 防災教育, 環境教育] <助教> <松重 摩耶>



《内容》

四国にある言い伝えや体験談、そこに込められた教訓を普及・啓発するための方法を実践し、体験型防災学習の環境を整えることを目的に研究を行っています。子どもから大人までの世代、地域と地域、そして多様な分野と連携しながら、忘れられた記憶や埋もれた知恵を現代に生かし、未来へつなげることで、防災や災害の教訓が暮らしや営みに調和し、大規模災害時に活かされる知恵や文化となることを目指しています。

また、令和6年能登半島地震後の被災地調査等から南海トラフ地震への備えや教訓を抽出し、四国の災害・防災対応へ活かす取り組みや研究を行っています。具体的には、地域住民同士の互助の情報共有ツールとしてLINEオープンチャットの活用や、災害時のトイレ問題等に関することです。

災害後の復旧・復興、さらには地域の継続には、地域の人々の想いや協働力が不可欠です。その基盤として、平時から自然の災いだけでなく自然の恵みを体感する経験が重要であると考えています。例えば、地域の人々とともに稲刈りを行うことや、川遊び、清掃活動を通じて生物に親しむといった体験です。こうした経験を通じて育まれる地域への愛着や、地域の中での自己のアイデンティティが、災害後の行動や地域再生に影響すると考えています。

分野:<土木工学、複合領域>

専門:<災害伝承、防災教育、環境教育>

E-mail: matsuhige@tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-615-8530

HP :四国防災八十八話俱楽部

<https://shikokubousai88wa-t.amebaownd.com/>

